

鷹を使用した勇者は、物語トラック上の鷹を（使用可能な面を表）にして獲得します。

鷹が戻って来た！ なんと勇敢な生き物であろうか。その脚には文書がくり付けられている。慎重にそれを外し、走り書きの内容を一読する。

「便りが来るのを心待ちにしていたよ！ それにしても原初のトロールとは、なんたることだい！ まいったね！ そいつの凶悪さは折り紙付きさ。でもあんたたち、引き返すつもりはないんだね？ しかし私が時々歌っていた歌なんて、よく覚えていたもんだ。でもその歌の中じゃ、原初のトロールは脇役にすぎない。それはノミオンっていう名のクラードの呪術師について歌ったものなんだよ。そいつは力に餓えた怪物で、人間やドワーフを奴隷にした最初のクラード族なのさ。歌の中じゃ、原初のトロールを倒せる武器は存在しないことになってるけどね、ノミオンはその代わりに、原初のトロールを魅了する手段を見つけたんだ。こうしてノミオンのしもべとなって以来、原初のトロールは、ノミオンの許しがあるまで満足に眠りに就くことすらできなくなった。そのノミオンだって、とっくの昔に死んでいるはずなんだけどね。ノミオンは生前、蜘蛛の足のような装飾のある塔に隠れ住んでいたと言われている。私が知っているのはここまでさ。少しでもあんたたちの役に立ったら幸いだよ。どうか生きて戻っておくれ！」

「蜘蛛の足のような装飾……？」

その塔なら、ずいぶんと前に見たことがあった。そこへ行けば、原初のトロールについて何かわかるのだろうか？

247 番のマスに星マーカーを配置します。勇者が 247 番のマスで移動をやめたなら〈孤高の塔1〉のカードを読み上げます。